

転倒 災害を防止せよ

すべらない こぼさない 大分県



大分労働局 労働基準部 健康安全課

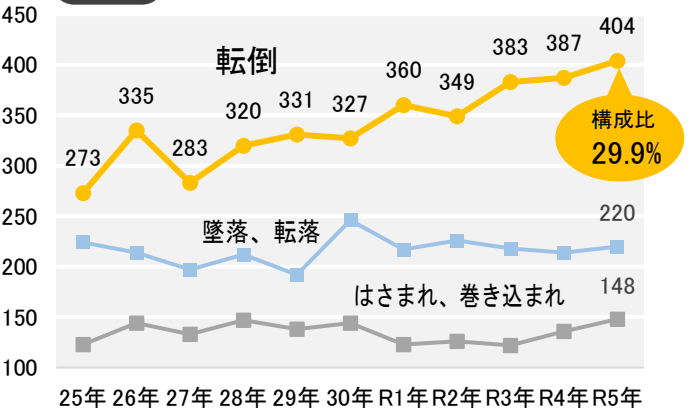
大分県では、労働災害のうち、転倒災害が29.9%を占めています 令和5年

厚生労働省などでは、平成27年から転倒災害防止に取り組んできましたが、大分県では、依然として、転倒災害の増加傾向に歯止めがかからず、休業4日以上労働災害の中で転倒災害が全体の29.9%を占め、最も多くなっています。

令和5年度から始まった第14次労働災害防止計画においても、転倒災害を労働者の作業行動に起因する労働災害として位置づけ、災害件数の減少を目指しています。

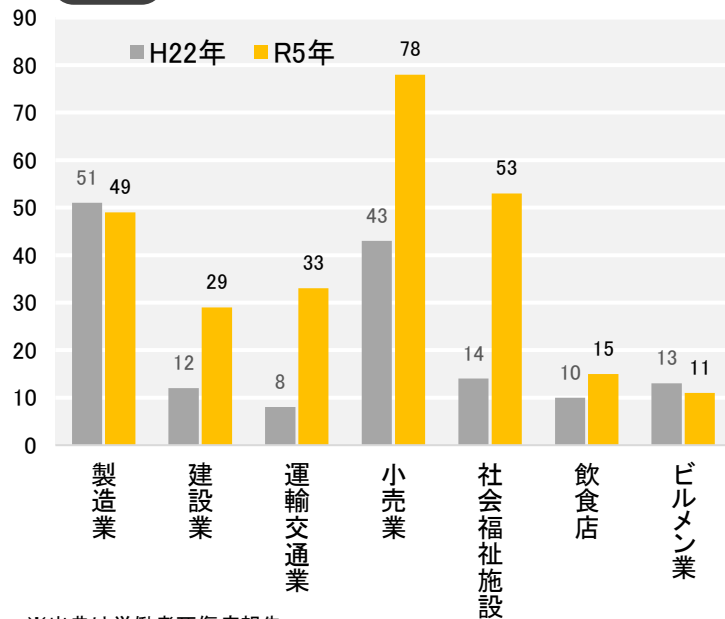
本ページでは、大分県における転倒災害の特徴と効果的な転倒災害防止対策を解説します。

大分県 事故の型別労働災害の推移 | 全産業

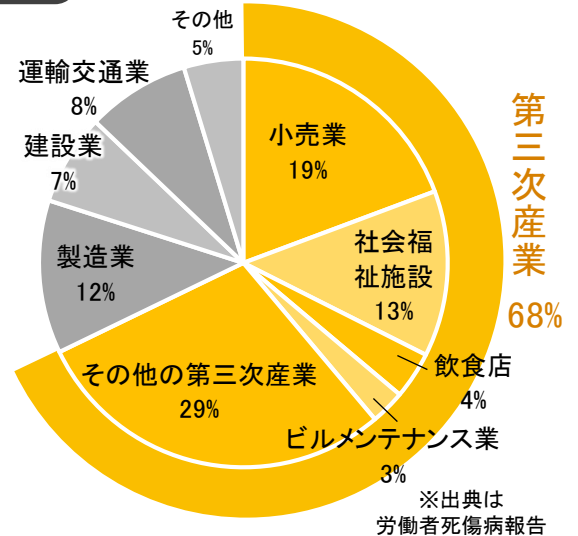


転倒災害の約7割は、第三次産業の職場で発生しています

大分県 転倒災害の業種別発生状況

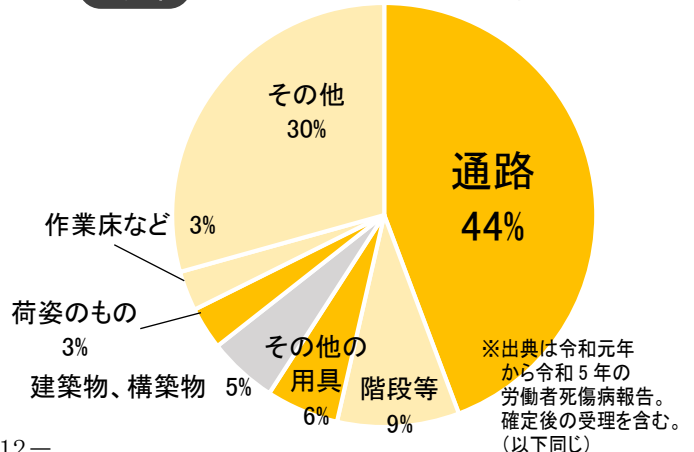


大分県 転倒災害の業種別発生割合 | 令和5年



転倒災害の起因物の半数は「通路」です

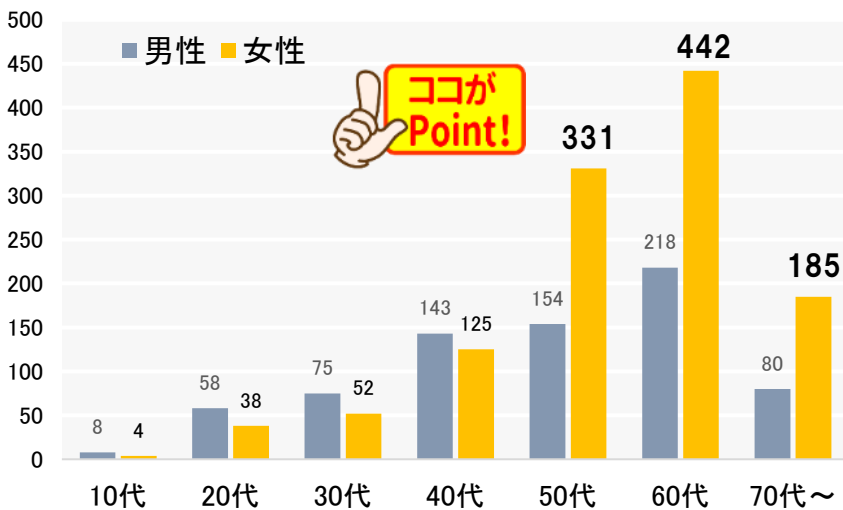
大分県 転倒災害の起因物別割合 | 過去5年



- ☞ 転倒災害は、平成22年と比較すると、製造業以外の主要産業で増加しています。
- ☞ 転倒災害のうち、68%が第三次産業の職場で発生しています。
- ☞ 平成22年との比較においても、第三次産業の増加率が高くなっています。
- ☞ 転倒災害の起因物は、「通路」が最も多く、44%を占めています。

転倒災害の50%は、50歳以上の女性が被災しています

(人) 大分県 転倒災害の年代別・男女別発生状況 | 過去5年



※出典は令和元年から令和5年の労働者死傷病報告。確定後の受理を含む。

- ☞ 5年間の男女別発生件数は、男性：736 女性：1,177 と女性が多くなっています。
- ☞ とくに50歳以上の女性の発生件数が多く、全体の50%を占めています。
- ☞ 50歳以上の男女比は概ね1：2となっています。

✓ 50歳以上の女性労働者への転倒災害防止の取組が必要です。

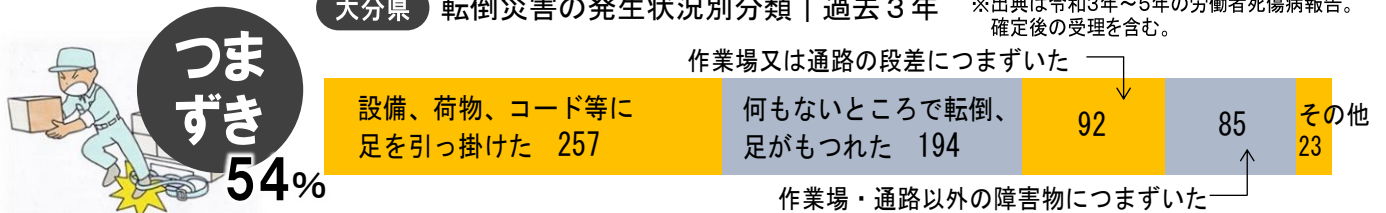


発生状況別では、つまずきが54%を占めています

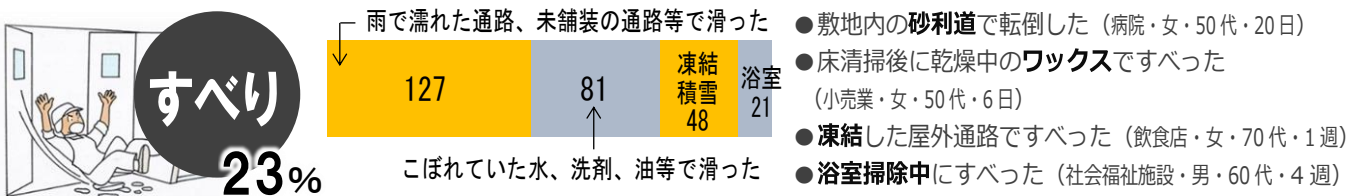
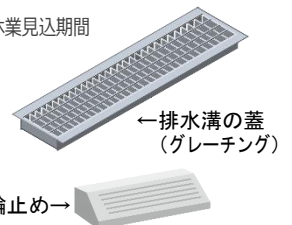
大分県で過去3年間（令和3年～5年）に発生した転倒災害を、発生状況別につまずき、すべり、踏み外しに分類した結果と、各発生状況別の災害事例は以下のとおりです。

大分県 転倒災害の発生状況別分類 | 過去3年

※出典は令和3年～5年の労働者死傷病報告。確定後の受理を含む。



- 止めていたフォークリフトの爪につまずいた（食料品製造業・女・60代・2週）※期間は休業見込期間
- 走って移動中、パレットにつまずいた（電気機器用・通信機器用部品製造業・男・30代・9日）
- 厨房で作業台の脚に、足が引っかかった（社会福祉施設・女・70代・24日）
- 出入口の泥落としマットが浮いていたため、つまずいた（小売業・女・50代・3週）
- 扇風機のコードに足を引っかけた（印刷・製本業・女・70代・1か月）
- 病院の廊下を小走りで移動中、つまずいた（病院・女・50代・1か月）
- 調理室内で清掃中、排水溝の蓋を開けていたところ、排水溝に足が落ちた（食料品製造業・女・40代・6週）
- お客様の荷物を運んでいるときに駐車場の車輪止めにつまずいた（タクシー業・男・50代・2か月）



- 敷地内の砂利道で転倒した（病院・女・50代・20日）
- 床清掃後に乾燥中のワックスですべった（小売業・女・50代・6日）
- 凍結した屋外通路ですべった（飲食店・女・70代・1週）
- 浴室掃除中にすべった（社会福祉施設・男・60代・4週）



- 階段を下りていたところ、最後の1段を踏み外した（小売業・男・60代・1か月）
- 踏み台（高さ50cm）に乗って商品整理中、床面に降りる際に転倒した（小売業・女・70代・40日）
- 勝手口の踏み台の段差を踏み外した（飲食店・女・50代・1か月）

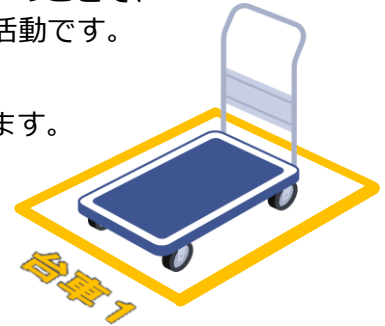


POINT 4S活動を徹底し、転倒要因を取り除く

SEIRI 整理 必要ない物は捨てる	SEITON 整頓 必要な物をすぐに取り出せるようにする	SEISOU 清掃 綺麗に掃除をする	SEIKETU 清潔 整理・整頓・清掃を維持する
--	--	--	--

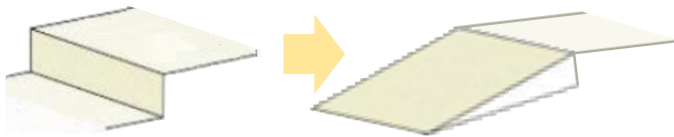


- ☞ 4Sとは「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」のことで、これらを日常的な活動として行うのが4S活動です。
- ☞ 4S活動は労働災害の防止だけではなく、**作業のしやすさ、作業の効率化も期待**できます。
- ☞ 人の目に触れにくいバックヤードも整頓を忘れないようにしましょう。
- ☞ 床面に配置する用具、台車は、定位置を決めましょう。



POINT つまずきの原因を取り除いた上で、見える化に取り組む

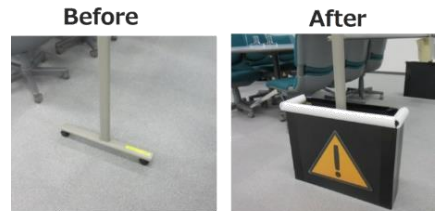
- ☞ 事業場内の作業場所及び通路の凸凹や段差を解消する



←フロアマットの「めくれ」防止、「しわ」防止の対策を講じましょう

- ☞ 電気コード等の取扱いのルールを定めて、労働者に徹底させる
 - ・通路に電気コード等を横断させない → 架空配線又は床下配線を検討しましょう
 - ・電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させましょう

- ☞ つまずくおそれがある設備、家具等の脚部を見える化する



- ☞ 作業場・通路以外の障害物のつまずき防止対策を講じる



- ・駐車場と作業場所との間に、適切な通路を設定しましょう
- ・車輪止めの見える化を検討しましょう
- ・客先、訪問先、送迎先での危険箇所の情報を共有して転倒防止について注意を喚起しましょう

POINT 加齢による転倒リスクを知り、転倒しにくい身体づくりに取り組む

- ☞ ロコチェックを使って移動機能を確認する

一般的に加齢とともに骨や関節、筋肉などの運動器が衰え、何もない場所であっても転倒するリスクが高くなります。

移動機能の衰えのサインがあるか「ロコチェック」を使って確かめましょう。

- ※ ロコモ (ロコモティブシンドローム) = 「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のこと。
- ※ ロコチェック = 「片脚立ちで靴下がはけない」などの7つの項目で確認します。



ロコモ ONLINE

- ☞ こつしょうしょう市町村が実施している「骨粗鬆症検診」を受診する

中高年齢の女性については、前頁の災害発生状況のとおり、転倒による骨折のリスクが高くなっています。市町村が健康促進事業として一定年齢の女性住民を対象に実施している骨粗鬆症検診を受診しましょう。



政府広報オンライン

転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等を導入する

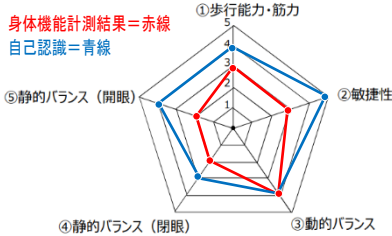


転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」

厚生労働科学研究補助金 労働安全衛生総合研究事業の一環として制作したものです。多くの専門家が議論を重ね、心地よい音楽に乗せつつ効果のあるエクササイズの数々をバランスよく組み合わせ振り付けています。
1日1回行えば、ロコモの指標が改善します。



いきいき健康体操



転倒等リスク評価セルフチェック票

身体機能及び身体機能に対する認識等からレーダーチャートを作成することで自らの転倒等の災害リスクを認識し、労働災害の防止に役立てるものです。
左のチャートの場合は、身体機能が自分で考えている以上に衰えている状態です。とっさの行動を起こした際など、身体が思いどおりに反応しない場合があるので注意が必要です。



転倒等リスク評価セルフチェック票



POINT すべりの原因を取り除く

水、洗剤、油等がこぼれたら、すぐにふき取り、その状態を維持する
清掃エリアの立入禁止、清掃後に乾いた状態を確認してから解放する



防滑床材を導入する、摩耗したら再施工する
とくに水場には、防滑性能の高い床材を敷く、塗布する等の対策を講じる必要があります。浴室については、脱衣所等の近接エリアを濡らさない対策が必要です。



雨天時にすべりやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を講じる



すべりにくい履物を使用させる 靴底のすべりにくさを上げることで転倒リスクを下げるすることができます

① サイズ

靴と足はフィットしていますか？

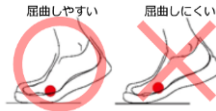
足に合った靴は、疲労の軽減、事故の防止につながります。



③ 屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？

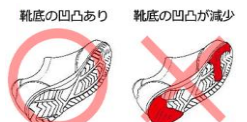
靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、すり足になりやすく、つまずきの原因となります。



⑤ 靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか？

靴底の減りが大きい靴は、すべりやすくなります。



② 重量バランス

靴の前後の重さのバランスはとれていますか？

靴の重量がつま先部に偏っていると歩行時につま先部が上がりにくく、つまずきやすくなります。



④ つま先部高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか？

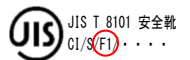
つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



⑥ 耐滑性の有無

靴のすべりにくさを確認していますか？

安全靴の場合、個装箱のJISマーク表示近くに「F1」又は「F2」の表示があるか確認してください。



POINT 階段付近は十分な明るさを確保し、足元が見える状態で上り下りする

両手がふさがる荷物の運搬は、階段を避ける
照明が暗い、大きな荷物を抱えているなど、足元の見えづらい状態は階段の踏み外しにつながります。

安全の見える化事例1
階段に通行方向を明示するとともに、事故が起こりやすい最後の3段にカウントダウンの表示をして注意を喚起しています。



安全の見える化事例2
歩くべき場所と、段差の高さを明示するとともに、手すりの保持について注意しています。

